

ゴスペルシンガー&シンガーソウルメッセンジャー

Hanna Bunya

はんなぶんや

人権 コンサート

ゴスペル音楽で 人権を学ぼう

最も美しく豊かな表現力を持つ楽器、それは声。多彩な声を使い分け聴衆を惹きつけて逃がさない歌唱力、ゴスペル・メッセージに根ざす愛と生命理解、そして国際舞台で鍛えぬかれた英語力というゴスペルに必要な「三拍子」をそなえ持った、日本を代表するゴスペルクイーン。彼女のソウルメッセージをお楽しみください。

全席自由

入場無料

日時

2020年

2月2日(日)

開場/13:00 開演/13:30

会場

海南文化村 文化館ホール

主催/海陽町人権教育協議会

後援/海陽町教育委員会・海陽町

お問合せ

海南文化館 TEL.0884-73-3100

海部郡海陽町四方原字杉谷73

Hanna Bunya (はんな ぶんや)

《ゴスペルシンガー&シンガーソウルメッセンジャー》

[経歴] 大阪生まれ、16歳で単身アメリカに渡る。

1994年ミネソタ州立ムアヘッド大学マスコミュニケーション学部卒業。

在学中の難民保護活動(感謝状を受ける)をきっかけに「人間の安全保障」を軸においた平和づくりを研究する。ジョージワシントン大学大学院安全保障研究科卒業。

病気をきっかけに世界平和に加え「心の平和」を考える。

幼少から親しんだゴスペル音楽が、奴隷の人々の平和への希求から生み出されたことを改めて知り、音楽を通じて平和を訴えるべくゴスペルシンガーに転身。

2001年、アメリカ音楽プロ界の登竜門であるNYアンダーグラウンドにてゴスペルナイトに出演、フィナーレを飾る。

2015年3月にはNYカーネギーホールにて日米親善コンサート出演し、世界最大最古のNY聖パトリックパレードに日本から初参加、表彰を受ける。

国内外のライブ活動に加えて、学校公演やゴスペルの歴史と歌を交えた人権や男女共同参画の講習を行う。近畿大学での特色豊かな英語講師としても活躍。

国際関係コメンテーターとしてもラジオ&TVにも出演。

関西を中心にコーラスの指導やステージ歌唱指導も継続して行っている。

現在までにCDアルバムを4作リリース。



— 人権推進 「ゴスペル音楽で人権を学ぼう」 —

ゴスペル音楽には、奴隷としてアフリカから連れて来られた人たちの悲しい歴史と、それを乗り越えてくるなかで培われた素晴らしい知恵と力があります。そのようなゴスペル曲の数々とその歴史背景を紹介しながら人権を見つめ直すお話をします。音楽を通じて共感する心を育て、差別や人権を考える知識を養うことができるコンサートです。